

第二章 四つ葉の少女

翌日の休み時間、朝日^{あさひ}が窓から教室に差し込^さむ中、エリカの机の側をある女の子が通りかかった。少女の首には四つ葉^{よば}のクローバーのネックレスが輝^{かがや}いていた。

「ねえねえ！この質問の答え、教えてくれる？」

エリカは少女に声をかけた。しかし少女はそれに答えず、